

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	小樽市さくら学園		
○保護者評価実施期間	令和8年3月23日		～ 令和8年4月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	令和8年3月9日		～ 令和8年4月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	並行通園をされる児童が増えていること。	それぞれの通園先とお子さんに関する情報交換に努めている。お互いの顔が分かる支援は、相談がし易い関係となり、地域連携にも繋がっていくと考えている。	並行通園について保護者から相談があった場合、保護者の意向に沿った支援を行い並行通園へ繋げている。
2	小樽市は道央圏にあり、北海道立こども総合医療・療育センターなど高度な専門機関への通院が可能であること、また市内でも児童精神科の医師への受診や相談、専門職によるリハビリを受けるなどの環境が充実していること。	お子さんが通う医療機関の専門職の方々から提供される情報は客観的であり、支援を考える上で大きなヒントとなっている。また、お子さんが受けるリハビリの見学時や、関係者会議では直接的に支援に対するご意見をいただける機会となっている。	保護者の方から相談を受けた場合には積極的に医療へつなげ、正しい知識のもと、お子さんの療育に関われるよう努めていきたいと考えている。
3	園庭が広く、季節ごとの戸外活動を楽しむことができていく。	園庭内の小さな花壇にトマトなどを植えている。また、子ども達がすぐに手が届くところにブルーベリーの木があり、その場で食べることができるようになっており、食育を意識した取り組みも行っている。	植える野菜類に変化をつけたり、計画的に果樹を増やすなどを検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の古さについて、保護者の方からも職員からも指摘を受けていること。	建物の老朽化が進んでいるため。	施設の管理については、小樽市と相談をしながら修繕に取り組んでいます。令和8年度は、外壁工事を予定している。
2	並行通園をされるお子さんの送迎時間の設定の難しさ	認定こども園や保育園の送り出しや迎え入れの都合の良い時間帯が重なる。	
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	小樽市さくら学園
------	----------

公表日 令和8年4月21日

利用児童数 33名

回収数 23名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23				・少人数なので大丈夫なのかなと思いますが、初めは少し狭いのでは？と感じたこともあります。 ・外の遊具をもう少し確保願う。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	4	1	1	・クラスの先生配置は充分であると感じますが、特性に応じて少し手のかかってしまう子どもには目が行き届かないこともあるのかなと思います。 ・足りないと感じる日もある。 ・先生の負担が多いから増やしてあげてほしい。 ・業務の負担が大きく大変そうな先生がいた。それにも関わらず仕事は完璧でありがたいが心配になった。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23						
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23				・とても綺麗に清掃がされていて清潔であると思います。所々古くて補強しているのを見ると怪我等の不安も出てきそうです。		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23				・とても優しく接していただき、特性を理解し対応していただいていると思います。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23						
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23				・子どもだけではなく、親が子どもに求めている課題が計画に反映されていると強く思います。		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22				1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23				・日常の活動の中で想定しない出来事や色んな事が起こる中でその通りにいかないこともあると思いますが、根拠に計画を基に進めていると感じます。		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1			・制作等も色々と考えていただき、座学もむらがる練習や指先を動かす運動など工夫していただいています。		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	19	2			2	・園庭で遊ぶ活動があり、とても良い機会だと感じました。 ・交流の日が通園日ではなかったので機会がなかったです。	・年に数回実施しております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23					・親の会などでお話できる機会があり、とても心の拠り所となっております。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23					・連絡ノート等で教えていただき、又、私の方も情報共有や子どものことを知ってもらいたく、伝えさせていただいています。こちらは話し易い環境の中で大変助かっています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23					・面談では相談に乗っていただき、どうしたら良いのか悩んだ時は寄り添っていただいています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23					・子どもの気持ちに寄り添って支援していただいています。(否定することなく)	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	1				・親の会でお話しする機会はありますが、全体でというのは中々難しいのかもしれないです(時代的に)。イベント等で会う機会がありますが、中々ゆっくり話をする時間はないです。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22			1	・とても相談しやすい環境にあると思います。	
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23				・基本は連絡ノートでのやり取りですが、伝えきれないことについては電話でのやり取りもしやすく大変ありがたいです。	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	3			・毎日の活動概要は全て伝えるのはとても大変であると思いますが、個別にでも概要がわかると嬉しいです。(例えば今週はハサミに取り組む予定やひらがなの練習など、今月はクリスマスの制作など) ザックリでも・・・。	・通常の活動や行事等のSNSを活用した情報発信は今後の課題です。 ・自己評価の結果公表はHPにて開示しております。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23					
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	7		1	・訓練が実施されているかはよくわかりません。	・各種マニュアルは策定しておりますが、保護者様への周知が徹底されておりません。周知方法を検討していきます。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	2		1	・定期的な訓練は行われていると思いますが、全員が訓練に関わっているかはわかりません。	・全員で避難訓練を毎月実施しております。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1			・子どもの安全が確保された状態で支援が行われていると思いますが、事前の計画が改めて周知されているかどうかはわかりません。	・業務継続計画(災害・感染症)は策定しております。
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1				
満足度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	23				・とても先生たちに心を許していて、安心して通っています。	
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	23				・行き渋りや行きたくないと言われたことは今まで一度もありません。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	23				・計画に沿った支援で、先生たちもとても優しくとても満足しています。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		小樽市さくら学園				公表日	令和8年4月21日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・人数に対して広すぎる、狭すぎるを感じる時がある パーテーション等で工夫している ・クラスがもう少し広いと良いと感じるがレイアウト等を工夫し対応している ・人が多い時はグループ分けをして怪我が無いよう工夫して活動を割り振っている点		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・足りない時はヘルプの職員が手伝いに行っている	・個別対応が多く必要な場合、足りないように感じる ・足りないと感じる時は多々ある ・今年度の様な職員配置はかなり負担であった。クラスの保護者にも不安な思いをさせてしまい申し訳なかった。今後はしっかり職員体制の適正配置を願っている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・職員同士で声を掛け合うようにしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・毎日掃除を行い、消毒も徹底している	・建物の老朽化 ・細かなところは見れていない(換気扇など) ・建物自体が古く、清潔さはあまり感じない	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			・さくら学園に関わる事項は、もう少し過程の話も細かく教えて欲しい	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・医療機関からの情報は得ている	・フォーマルなもの使用できていない	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			・任せてしまっている部分が多いため、こちらから積極的に立案の話をしていく必要がある	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		・担当者会議を行うと、学園の支援を理解して頂くことが多い印象を受ける	・幼稚園・保育所の職員が実際行っている支援（療育）を勉強できる研修等があると、もっと良いのではと思う
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	<input type="radio"/>			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	<input type="radio"/>			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>			・家庭との関りをノートを通じて以外にも、相談に乗れるよう努めていく
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		・伝え方を工夫しながら理解していただけるよう努めています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>			
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		・招待はしていないが、園庭を利用する行事の際は近所の方にご挨拶をしている	
非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			・ものによっては家族への周知は出来ていないと思う
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			